



家事サポートによる地域での助け合いの循環



地域に潜むワンオペ育児の存在

西宮市において家事サポート事業を行っていたものの、ひとり親家庭の利用はほとんどなく、また、行政による支援も深刻なケースに限定され、継続的な支援を受けられる家庭はほんのわずかであると感じていました。

2018年に西宮市が行った「西宮で迎える産前・産後の実情調査」でも、公的サービスを利用した人は回答者の1割にも満たず、近くにサポートを頼むことができる人がいない、いわゆる“**ワンオペ育児**”の実態が浮かび上がりました。ただ、身内以外から支援を受けた人もいて、その7割以上は自宅から半径1.5キロ圏内にいる人に支援を受けていることが分かりました。

半径1.5キロ圏内での助け合い

地域での孤立を防ぎ、継続的に地域でつながりを持つ体制を構築することを目的に、ひとり親家庭を対象とした無料モニターを募集して**家事サポート**に取り組みました。

利用開始前から面談を行い、サポート内容を決定しますが、その内容は料理づくり、子どもの世話、部屋の片づけなど様々です。利用開始後も、家事サポートを行うサポーターと連絡担当を行うコーディネーターがつき、ひとり親家庭に関わることで信頼関係を構築、誰かに頼ってもいい、という安心感が生まれ、行政や他団体の支援につなげていくことが

できました。

利用者からは、「仕事が忙しく日々の生活に追われていたが、今後の生活について考えることができた」「人を頼っても良いと思えるようになり、遠慮なく他のサポートも受けられるようになった」等の感想が寄せられました。

サポート基盤の強化

家事サポートをするサポーターに対しても、安心して活動ができるよう、コミュニケーション手法の習得、活動フロー・約束事項などについてマニュアルを作成、支援を充実させました。**家事サポートを行う上での心配ごとを1つずつ解消**していくことで、活動への意欲や参加の動機づけを強めることができ、サポートの質の向上にも大きな役割を果たしています。



特定非営利活動法人
a little (兵庫県西宮市)

事業名 半径1.5キロで脱ワンオペ育児 ひとり親家庭への子育て支援事業

助成金額 4,833千円

URL <http://alittle.sakura.ne.jp/>